

東京の博物館めぐり—38

葛飾区—1



平野 武宏

今回は映画「男はつらいよ」の寅さんの生まれ故郷、葛飾区の博物館めぐりで
す。区内にある博物館(記念館・資料館・展示館等の総称とします)から寅次郎
の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館の
ホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表
例です。右上の写真は江戸川の堤です。映画「男はつらいよ」の寅さんが旅か
ら柴又に戻り、向こうから歩いて来そうな雰囲気です。

バーチャルウォーク「日光道中二十一次」の途中経過も報告します。

【寅さん記念館】 葛飾区柴又 6-22-19 最寄駅 京成金町線 柴又駅

柴又駅前では「寅さん」と「妹さくら」の銅像がお出迎えです。まずは「帝釈
天参道」(写真下左)から葛飾柴又「帝釈天」にお参りした後で「寅さん記念館」
(写真下右で奥の緑は江戸川の堤)へ向かいます。

「寅さん銅像」や「帝釈天」については「こぼれ話」をご覧ください。



11月13日(金)9時20分(開館は9時)に入館したら「本日の最初のお客さん
です！」と寅さん記念館と名が入った万年筆型ボールペンを記念品にいただき
ました。寅次郎、柴又には「最初に訪問したのはいつか？」を忘れるくらい、
たびたび訪問しています。もちろん、ペンネームの「平野寅次郎」の使用初め
には、柴又帝釈天にお参りに来ています。映画の寅さんを演じた渥美清さんの
七回忌法要(経緯は忘れましたが、七回忌法要の案内状が届きました)には柴
又を訪れ献花しました。

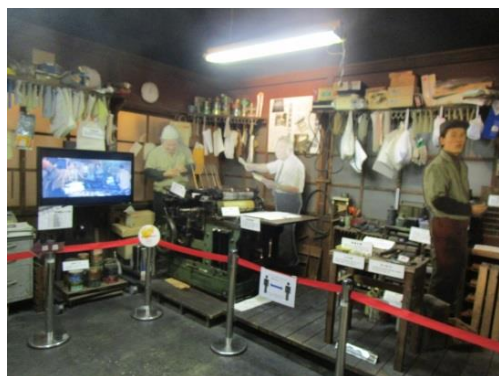
正面入口(写真下左)を入ると、まずは葛飾柴又撮影所(写真下右)の入口で映画「男はつらいよ」の世界です。



「柴又帝釈天参道」(写真下左)と撮影スタジオ「くるまや」(写真下右)の復元です。何度見ても本物の寅さんが寝ているようです。



「くるまや」の裏はタコ社長が経営する「朝日印刷所」(写真下左)で妹さくらの夫の博もここで働いています。歴代のマドンナや映画のポスター(写真下右)が次々に写し出されるコーナーは見ごたえがあります。



開館時間は9時～17時。休館日は第3火曜日(休日の場合は直後の平日)、12月の第3火・水・木曜日です。入館料は一般500円、シニア(65歳以上)400円、小中学生300円です。



寅さんが愛した鈍行列車の復元や寅さんの持ち物(衣装やトランクの中身)(写真左)等の資料展示コーナーなど見所満載で、映画「男はつらいよ」や「寅さん」ファンにはたまりません。

2019年4月からは館外からも入れる「寅さんカフェ」や「お土産コーナー」が出来ました。

〔山田洋次ミュージアム〕 寅さん記念館内

以前は寅さん記念館とは道を挟んだ建物にありましたが、敷地の中庭に移り、寅さん記念館を見た後、外に出ず続けて見学できます(写真下左)。山田洋次“もう一つの世界”と出会うプロローグから始まり、デビュー作(1961年「二階の他人」)から「男はつらいよ」誕生までの山田洋次作品の紹介、映画づくりを支えてきた機材(写真下右)等が展示されています。山田洋次の「家族とは、教育とは、また時代劇や喜劇の映画づくり」について知ることが出来ます。



〔葛飾区郷土と天文の博物館〕 葛飾区白鳥 3-25-1

最寄駅 京成線 お花茶屋駅

2020年11月7日リニューアルオープンの「郷土と天文の博物館」です(写真下左)。2階が「郷土史」フロアで葛飾区域に人が住み始めた古墳時代前期から奈良時代の国、鎌倉時代の葛西氏、室町時代の上杉氏、戦国時代の北条氏と移り変わる支配、徳川幕府の江戸時代では葛飾の米や野菜が江戸の食卓を支え、農村が街への変化・都市化した近現代までの「かつしか」の歴史を展示。



近代の「かつしかの暮らし」では昭和30年代葛飾の花形産業だったボルト・ナット工場と住居の復元（写真右）があり、当時の様子を興味深く見学しました。

3階は「天文」のフロアで太陽望遠鏡による太陽の姿、宇宙の成り立ちを解説。写真右下は天文展示館です。

反対側はプラネタリウムで別料金です。



新型コロナ感染予防対策は万全で、検温、手指の消毒、同意書（マスク着用、ソーシャルディスタンス確保他）の提出、番号札（人数の把握）の配布、ビニール手袋の配布（片手のみで、天文フロアでの

ボタン操作）で感心しました。金曜日の10時半頃入館で寅次郎が胸につけた番号札は“8”でした。開館は9時～17時。1月2日・3日は正午～17時。休館日は月曜日、第2・4火曜日、12月28日～31日、1月1日、4日です。月曜日祝日の場合は開館。翌火曜日が祝日の場合は開館し、その直後の平日が休館です。入館料は大人100円、小・中学生50円。プラネタリウム観覧は事前予約で、大人350円、小・中学生100円、幼児50円です。1年間見放題の年間パスポートもあります。

【こぼれ話-1】柴又駅前の「寅さん」と「妹さくら」の像

映画「男はつらいよ」で車寅次郎を演じた「渥美清さん」は第48作を撮り終えて、平成8年（1996年）8月4日帰らぬ旅に出てしまいました。その3年後の平成11年（1999年）8月に柴又駅前に「寅さん像」が設置されました。

「寅さん」が長い間、ひとりぼっちで、かわいそうだとの声があり、平成 29 年 (2017 年) 3 月 25 日に妹「さくら像」が設置されました。映画で失意のうちに柴又を離れて旅に出る寅さんを妹さくらが見送るシーンの再現です。柴又を離れた旅先での寅さんは元気な姿が現れて映画は幕となります。

寅さん歩 170 東京にこんなところ-16 で詳しく紹介していますので、ご覧ください。

【こぼれ話-2】帝釈天彫刻ギャラリー

正式名称「経栄山題経寺」、通称「帝釈天」又は「帝釈天第経寺」は 1629 年 (寛永 6 年) 創建の日蓮宗の寺院です。「二天門」を入り、境内正面にある「帝釈堂」内殿の東・北・西の全面が装飾彫刻で覆われています。法華經の代表する説話 10 話を選び視覚化し、1922 年(大正 11 年)~1934 年(昭和 9 年)にかけて 10 名の著名な彫刻師が 1 面ずつ分担制作をしています。有料ですが一見の価値があります。寅さん歩 130 東京にこんなところ-4 で詳しく紹介していますので、ご覧ください。

【バーチャルウォーク途中報告】 日光道中二十一回完歩しました!!

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道」に続き、「日光道中二十一回」に挑戦し、11 月 25 日、日本橋を出立、12 月 22 日、日光神橋 (144 km) に到着です。日光道中二十一回の完歩です。日光東照宮にお参りをして、さらに北へ向かいます。



自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWA の HP 「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の 3 密にならないようご注意ください!

次回は 東京の博物館めぐり-39 です。

平野 寅次郎 拝